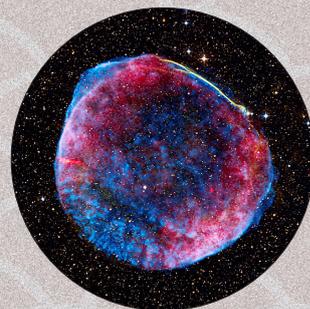


平安の陰陽師が見た宇宙線加速源

2015年12月20日(日)

開場 13:30 開始 14:00 終了予定 16:30 名古屋市科学館・サイエンスホール

- 主催 名古屋大学大学院理学研究科・名古屋市科学館
- 特別共催 名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構
- 対象：高校生以上 ● 定員：300名(申込制、多数の場合は抽選)
- 参加には科学館の観覧料が必要です(高校生/大学生 200円、大人 400円)



©NASA, ESA, Zolt Levay (STScI)



講演者：小山 勝二氏 (京都大学名誉教授)

理学博士(京都大学 1976年)。東京大学宇宙航空研究所(現宇宙科学研究所)助手、名古屋大学理学部 助教授を経て、1991年より京都大学理学部 教授。2009年より京都大学名誉教授。日本のX線天文学を長年リードし、宇宙における数々の高エネルギー現象の物理を明らかにした。

X線天文学の発展へ多大な寄与、著名な業績に対し、朝日賞(1981年)、井上學術賞(1995年)、日本天文学会林忠四郎賞(1999年)、日本天文学会欧文論文賞(2000年)、仁科記念賞(2002年)、紫綬褒章(2004年)などを受賞。

申し込み：12月6日(日) 締切 申し込みは講演会 WEB ページからのみとなります。

<http://www.phys.nagoya-u.ac.jp/SakataHayakawa/index.html>



● 坂田・早川記念レクチャー

名古屋大学大学院理学研究科・素粒子宇宙物理学専攻は、素粒子物理学と宇宙物理学の両分野における世界の研究の発展に寄与し、ノーベル賞受賞者をはじめ、多くの人材育成に関わってきました。坂田・早川記念レクチャーは、坂田昌一・早川幸男両教授の業績をたたえつつ、21世紀を担う研究者の発掘および育成を目的として設けられました。

第14回となる今回は、日本のX線天文学を牽引してこられた小山 勝二氏をお招きします。小山氏は長年日本のX線観測衛星の開発・観測に携わり、銀河系中心の高エネルギー活動起源の解明や、星の進化の最終段階である超新星残骸やパルサーなど、様々な天体現象を対象にして業績を上げてこられました。講演では、平安時代に超新星爆発を記録した安倍の陰陽師に関する秘話を織りまぜながら、超新星の謎についてお話しいたします。

● 講演の内容に関するお問い合わせ

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院理学研究科A研
担当：立原 電話：052-789-2839
E-mail：sakata-hayakawa2015@a.phys.nagoya-u.ac.jp

● 申込方法、会場に関するお問い合わせ

〒460-0008 名古屋市中区栄2丁目17-1 名古屋市科学館学芸課天文係
担当：中島 電話：052-201-4486(代)

